

行動に課題のある方への支援に より高い専門性を

— 市内で安心して暮らし 自立を目指すために —



静岡市強度行動障がい者支援施設等サポート事業
成果報告書

令和3年3月
発行 静岡市

目 次

はじめに	2
静岡県強度行動障がい者支援施設等サポート事業とは	3
入所施設サポートの取組	
穴 原 荘（社会福祉法人 玉柏会）	6
わらしな学園（社会福祉法人 静岡市厚生事業協会）	15
通所施設サポートの取組	
ラポールみなみ（社会福祉法人 静岡手をつなぐ育成の会）	23
あ す た す（特定非営利活動法人 P O P O L O）	28
も え り 清 水（特定非営利活動法人 もえり）	31
やんちゃりか（特定非営利活動法人 たからじま）	33
コンサルテーションで見えてきた強度行動障がい支援のまずはここ！	
自閉症教育・支援コンサルタント <small>みずの あつし</small> 水野 敦之 （入所施設サポート コンサルタント）	36
おわりに	42

はじめに

「行動障がい、どのように支援すればいいの？」

行動に課題のある方への支援について、悩んでいる障がい福祉施設職員の方は多くいるのではないのでしょうか。

各都道府県によって「強度行動障害支援者養成研修」が実施されるようになり、年々研修回数を重ねる中で、静岡市内においても行動障がい支援に取り組む施設・職員の方は増えてきました。

噛みつき、頭突きなどの他害行動や自傷行動がある強度行動障がい※1は、支援方法が難しく、全国的にみても、受入に消極的な障がい福祉施設も多くある状況です。また、強度行動障がい児者を受け入れている施設においても、**適切に支援できず問題行動を悪化させてしまう、問題行動を抑えるために身体拘束や行動制限などの虐待に繋がる**という例もあり、支援者の養成が課題となっています。

強度行動障がい児者は、本人の障がい特性などによる他者とのコミュニケーションの困難さから問題行動をとる場合があります。ご本人が安定した生活を送れるようにするためには、支援者による丁寧なアセスメント※2、環境やコミュニケーションのあり方などを整える地道な作業が必要になります。

本冊子は、静岡市が支援者養成のために平成28年度から実施している「**強度行動障がい者支援施設等サポート事業**」にご参加いただいた各施設の取組とその成果をまとめたものです。環境の整え方、スケジュールの作成、活動の設定、職員同士の協力体制など、様々な視点から執筆いただきました。

↓強度行動障がい者支援施設サポート事業の様子



これから行動障がい支援に取り組まれようとしている施設の方、行動障がい支援にどのように取り組んでいかわからないという施設の方にとって、専門的に支援に取り組む必要性を感じ、支援のヒントが見つかる内容となっています。また、既に行動障がい支援に積極的に取り組んでいる施設の方にも、参考となる内容になっています。

ぜひ本冊子がきっかけとなり、行動障がいのある方々への支援がさらに充実したものとなるよう願っております。

令和3年3月 静岡市 障害福祉企画課

※1 **強度行動障がい** 直接的他害（噛みつき、頭突き等）や、間接的 he害（睡眠の乱れ、同一性の保持等）、自傷行為などが通常考えられない頻度と形式で出現し、家庭での通常の育て方をしてかなりの養育努力があっても著しい処遇困難が持続している状態。

※2 **アセスメント** 指導・支援に必要な情報を観察などで調べること。